

死んだらおしまいも、死んだらホトケも、大間違いです。

あなたの「生きる」を支えるお寺

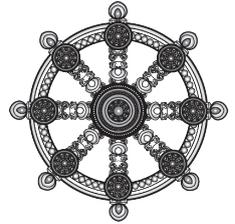
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゆんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.342



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

あなたの「なぜ？」を手がかりに

11月21日(木) 午後2時から 午後4時まで

月例法話

座談会

恒例法要のご法話は、布教使の僧侶の法話に静かに耳を傾けて聞きますが、月例法話座談会は参加者の毎日の暮らしの中の「疑問」や仏教に関する質問を通して、参加者全員で話し合い聴き合いながら、教えに生きることを学びます。ぜひお参りください。

11月25日(月) 10:00~12:00 13:30~15:30

こんき常例布教 法話 東近江市教勝寺 藤田 朋之 師

YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル



純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞いただけます。

住職法話 我聞如星 われかくのごとくきく

二つの「死んだら〇〇」に想う

ある祖父と孫娘との会話です。

祖父、「イトちゃんは大きくなったら何になりたいの?」

孫娘、「私はケーキ屋さんになりたいの!」

「おじいちゃんは、大きくなったら何になりたいの?」

祖父、「・・・」

さて、あなたが祖父の立場ならば、何と答えるでしょうか。

「死んだらおしまい」という言葉、いろんな場面で見にします。「人生百年の今の時代に、死のことなど考えるなんて。死んだらおしまいですよ。それよりも、元気に楽しく長生きするための方法を考えることの方

が大切です」というような具合です。

誰もが、元気で楽しく長生きしたいと思っています。しかし、それでも必ずやってくるのは命の終わりです。なのに、自分の死に向き合おうとしない生き方を、仏教では「虚しく生きる」と言い当てます。この生き方は、最後には「死ぬのが怖い。死んだらどうなるの?」と嘆かねばなりません。

浄土真宗という教えは、「命の終わりは死ではなく、阿弥陀仏の悟りの世界である浄土に往生し、全ての苦しみから解放されること」と教えます。命の行方を知ることが、命の終わりの意味を知ること。そして、それは命の現在地を知ること

であり、あらゆる困難を乗り越えて生きる力が与えられるということ。次に「死んだらホトケ」という言葉があります。「みんな死んだらホトケになるのだから、別に寺に参ったり仏教を学んだりすることはない」というように使われます。

これも、全くのウソです。仏教の教えの中に、死んだら皆浄土に生まれてホトケになるなどは説かれていません。浄土に生まれて仏



親子で満堂になった、今年子ども報恩講

になるのは、生きている間に仏教を聞き開き、南無阿弥陀仏のはたらきによって仏になることを、疑いなくいただいてお念仏する人だけ。それ以外の人は、虚しく死んで、また苦しみの世界に生まれ変わるしかないのです。

今年も、純正寺の報恩講が勤まりましたが、昼間の大人向けの法要には毎回二十名ほど(内、純正寺の門徒は十名ほど)のお参りでした。それに対して、夜の「子ども報恩講」にお参りされた親子さんは、倍以上の四十五名ほどでした。

教えを聞くこともない人が、浄土に生まれて仏になるなどあるはずありません。さて、あなたはお孫さんからの「大きくなったら何になるの?」という、人として生きる上で最も大切な問いに、答えられますか。

たこ焼き焼いてきました

地震に続く大雨災害に見舞われた石川県能登の輪島市。何か少しでも楽しい時間を過ごしてもらえたらと、十月十六日(火)に海の見える「ねぶた温泉能登の庄」で、たこ焼きと焼きそばの炊き出しボランティアに行ってきました。

この日ボランティア参加したのは、大阪・京都・滋賀・福井・石川・富山から集まっ



住職・坊守・門推・介護士・飲食店ママなど



ピースしてんと、たこ焼き焼かんかい!

た十五名。石川県小松市の本光寺に集合し、朝六時に出発。三時間あまり車を走らせて輪島市へ。未だ地震と洪水の爪痕が生々しい市内を抜けて能登の庄へ。

駐車場にテントをたて、機材をセットして調理開始。たこ焼き三八〇食、焼きそば四〇〇食を調理して、皆さんにお配りしました。

中央教修の仲間である釋一華さんにも再会できて、クタクタになりましたが、貴重な一日になりました。

初！中教同期会のハシゴ

会期の違う二つの中央教修の同期会に、連続して参加してきました。十月二十日・二十一日は、第一六七回の本願寺での同期会でした。

長年幹事をしてくださっていた浅田さんが、今年三月に急にご往生された悲しみの中、浅田さんのお浄土からの還相のはたらきに導かれた同期生と共に、浅田さんのご遺徳を偲ばせてい



20年来の、歳の違う同級生の集いです



念仏者の非戦平和の灯も永遠に

幹事さんが不在となった同期会。今年で解散になるかと覚悟していましたが、参加者皆さんが浅田さんの意思を引き継ぐことを確認され、来年も開催されることになりました。

二十一日・二十二日は、第一六一回の同期会。こちらの会場は広島市。来年が敗戦八十年になることから、今一度非戦平和の意思を念仏者として新たにしたいと、原爆ドームと平和公園を訪問しました。続いて、広島別院に参拝して、原爆による別院の被害についても学ばせていただきました。とても有意義な三日間でした。



純正寺 11月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ一、六六四、四〇四個

まだまだ暑さ厳しかった九月も、皆さんから四〇九五個のペットボトルのキャップをお預かりしました。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

2日(土)
10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

「らいはいのうた」のお勤めと、住職による「仏典童話」の読み聞かせがあります。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

10日(日)
15:00~17:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。休憩時には、おやつもあり。

みんなの食堂ビハーラ

今月はお休みします

11月は、道路拡張工事がいよいよ純正寺横の駐車場に及び、駐車場も使用できなくなりますので、子どもたちに交通障害に伴う危険が及ばないように、食堂はお休みいたします。

世のなか安寝なれ「ビハーラ彦根」

3日(日)
18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

12日(火)・26日(火)
10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう

「月例法話座談会」

21日(木)
14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

みんな法友こんき常例布教

25日(月)
10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法の朋ができる法座です。ご法話は、東近江市教勝寺の藤田朋之師です。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は、
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り返し読み、『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

お知らせ
本堂横の一方通行道路の拡張工事が、いよいよ十一月初旬に本格化する事になりました。工事に伴い、本堂横の駐車場には駐車できなくなりまして、ご注意ください。詳しくは、純正寺までお問い合わせください。

ご往生
八月二十六日
赤珠院釋明浄
松宮美智子様
七十四歳
九月十五日
円満院釋唯明
満島文吾様
九十三歳

